

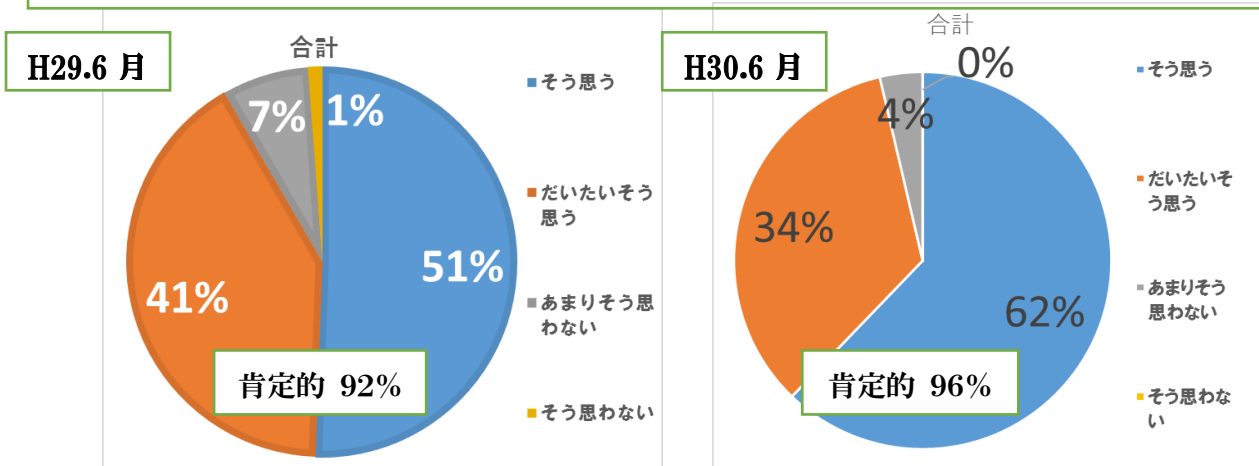
三心を磨く

学校だより NO. 32
平成30年 9月19日(水)発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

過日(6月下旬)1学期を「自分自身の学校生活」、そして「授業内容」についてアンケートを実施し、ふり返りをしました。今回は、そのアンケートの結果を保護者の皆さんに公表し、2学期の「課題」や「改善点」として明らかにすると共に、生徒たちの現状について保護者の皆さんと理解を図りたいと思います。

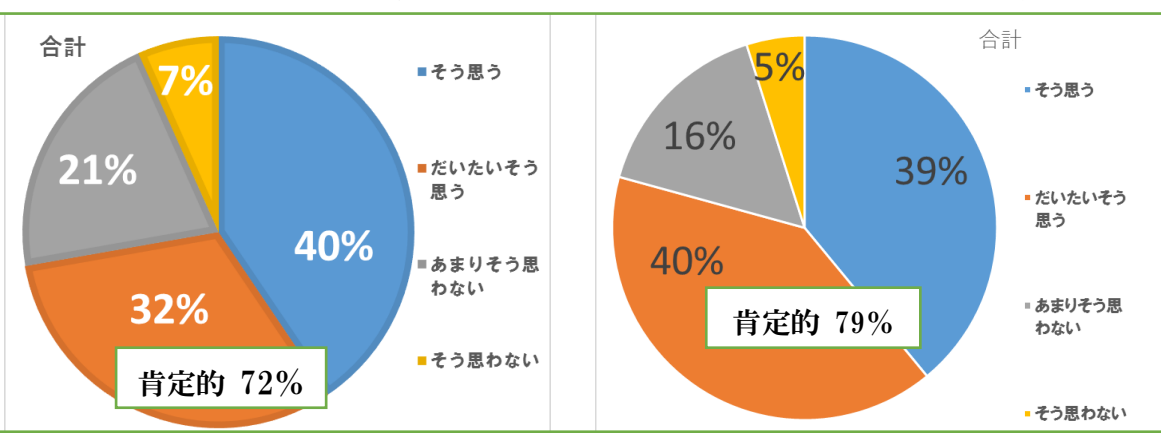
1 生徒自身による「授業への自分の取組」に対するふり返りの「経年比較」

(1) あなたは授業の中で、友だちと話し合ったり意見を聞き合ったりしていますか？(協同的な学習)



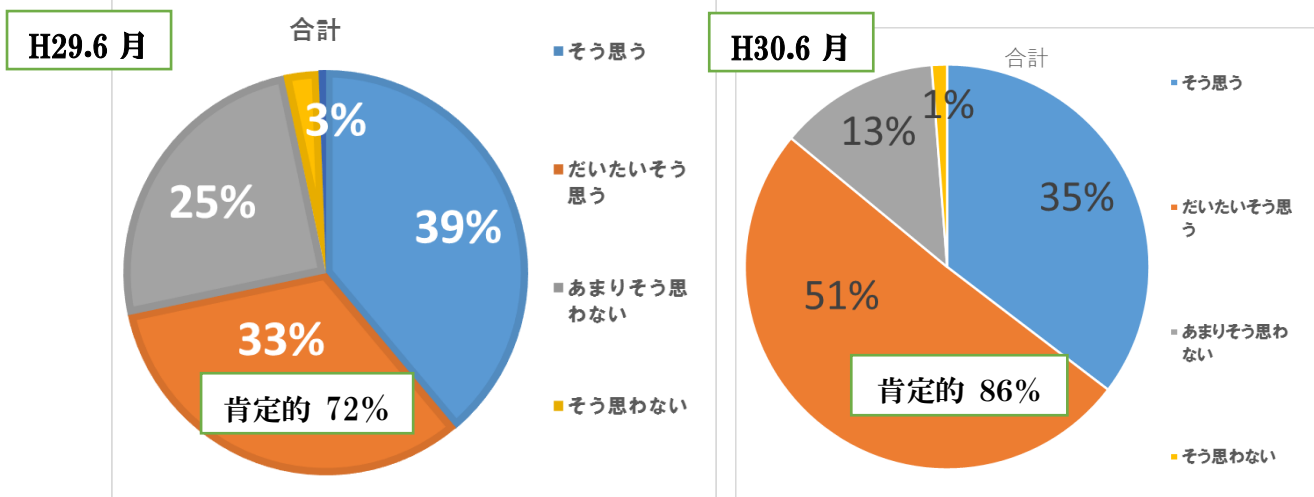
◇現在、本校では「ペア」や「グループ」による友だちの考えを聴き合い、友だちと話し合う活動を授業に取り入れています。21世紀型能力を育む「学び合う学校」の姿の具現をめざし3年目、今回は「96%」の生徒が、授業における協同的な学び(学び合い)の姿を日常的に感じています。これからは聴き合いや話し合いの質の向上をめざします。

(2) あなたは授業の中で、発言しようとしていますか？(積極性・授業への参画)



◇授業での発言は、とても重要です。自分の考えを友だちに聞いてもらうことは、自分に自信をもつことにもつながります。これまでのアンケート結果では、この項目の数値がかなり低く、改善をめざして取り組んできました。◇今回の結果、79%が「発言しようとしている」と答え、昨年度の同時期より「7ポイント」上昇しました。これは「協同的な学習」が充実してきた証ととらえています。この流れを大切に、「80%」突破をめざして行きます。※発言をすることが苦手な生徒、なかなか挙手できない生徒への支援や授業改善を、さらに進めてまいります。

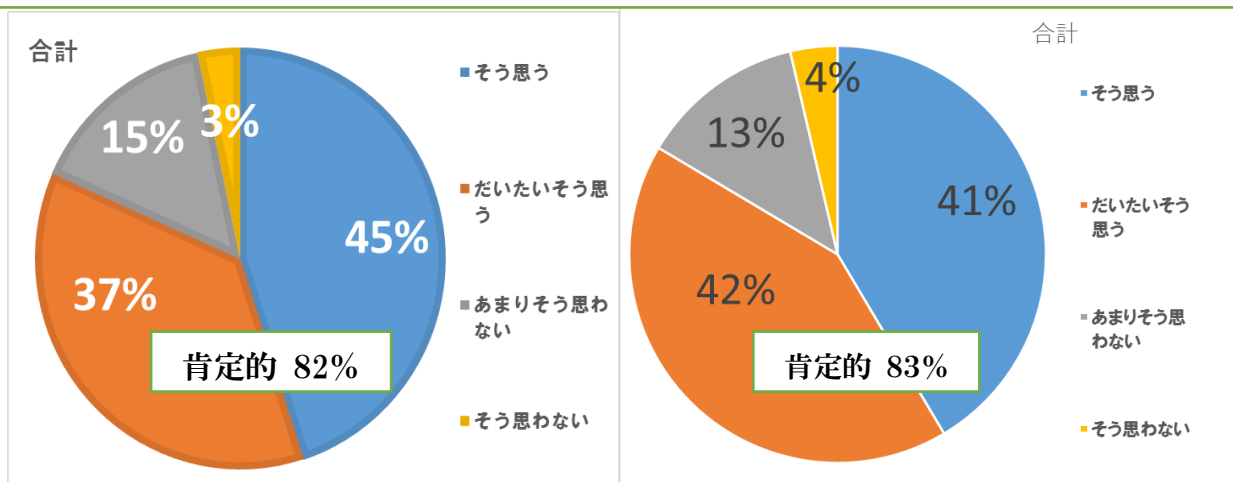
(3)あなたは、家庭学習の時間を増やそうと努力していますか？(家庭学習への取組)



◇3年前、本校の重要な課題として、「家庭学習になかなか取り組めない生徒」といった実態がありました。この課題に向き合い、宿題の中身の検討、取り組み方のガイダンスを行うなどの結果、86%の生徒が「学習時間を増やそうと努力している」と答えています。昨年度より14ポイント増、大きな改善、大変うれしい結果となりました。

◇肯定的な数値の中身を見たとき、そう思う「35%」、だいたいそう思う「51%」となっています。昨年度と比較したとき「あまりそう思わない」や「そう思わない」と答えた生徒が学習を始めたことが見えてきます。ここは大いに評価できますが、これからの課題は、「そう思う」のポイントを増やすことにあります。家庭学習のさらなる定着に努めて参ります。

(4)あなたは、提出ノートやプリントをしっかりと提出していますか？(家庭学習の提出物)



◇提出物の提出については、昨年度より「1ポイント」上昇し、83%が「提出できている」と答えています。提出ノートの提出率は、どの教科でも上昇し、「斜面ノート」や「三心自立」の提出状況も良好です。これは、生徒のアンケート結果と重なります。これからは次の段階をめざし、提出ノートの内容の充実をもとめていきたいと思ひます。「確実にらせる」から、「充実したノート、挑んだノートを出す」といった「質の向上」の指導を進めていきたいと思ひます。

【総合考察】

※アンケート結果を、昨年度の同時期(左側のグラフ)の調査と比べると、どの項目の数値も上昇していることがわかりました。この結果は、生徒たちの前向きな取り組みや意欲の向上、教師の授業改善がさらに進んでいることの証だととらえています。2学期もこの流れを大切にしていきたいと思ひます。

保護者の皆さん、これからもご家庭のお子さんへの励ましや認める言葉がけ、そして学校へのご協力等、よろしくお願ひします。

(次回は「授業評価アンケート」の結果について公表いたします)